



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社宇野澤組鐵工所 上場取引所 東
 コード番号 6396 URL http://www.unozawa.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田村 博 (TEL) 03-3759-4191
 兼経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,063	11.1	2	—	1	—	△0	—
28年3月期第1四半期	956	74.2	△48	—	△47	—	△49	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年3月期第1四半期	△0.01		—					
28年3月期第1四半期	△4.48		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	6,691	1,481	22.1
28年3月期	6,723	1,521	22.6

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 1,481百万円 28年3月期 1,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※29年3月期の期末配当予想は未定です。今後の業績等を総合的に勘案し配当額を決定次第、速やかに開示いたします。

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,430	9.2	25	257.1	15	400.0	10	—	0.91
通期	4,710	4.2	70	59.1	50	31.6	25	66.7	2.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期1Q	11,200,000株	28年3月期	11,200,000株
29年3月期1Q	150,384株	28年3月期	150,384株
29年3月期1Q	11,049,616株	28年3月期1Q	11,049,616株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
4. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における経済情勢は、緩やかな回復基調を維持しながらも総じて停滞感が強い状況となっております。国内において雇用環境の改善傾向が続いていることなどからも企業収益や雇用環境を中心に底堅い面も見受けられますが、企業の景況感において慎重さが増していることから、消費マインドに足踏みがみられ、個人消費は概ね横ばいに推移しました。また、海外経済の減速や金融・資本市場の不透明感が高まっていることに加え、英国の欧州連合（EU）からの離脱決定による影響への懸念から、景気の先行きへの不安も広がっております。

このような経営環境のもと、当社の業績は売上高1,063百万円(前年同四半期比11.1%増)となりました。損益面におきましては、営業利益2百万円(前年同四半期は営業損失48百万円)、経常利益1百万円(前年同四半期は経常損失47百万円)、四半期純損失0百万円(前年同四半期は四半期純損失49百万円)の増収増益となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

1. 製造事業

液晶・有機EL等のFPD（フラットパネルディスプレイ）関連の真空ポンプが高水準の出荷を維持したことに加え、輸出を中心に他機種の真空ポンプも伸長し、部品・修理に関する売上も大きく増加するなど、売上高は前年同四半期比99百万円（12.1%）増加の918百万円となりました。損益面におきましては、前年同四半期比41百万円改善のセグメント損失106百万円の計上となりました。また、当四半期末の受注残高は1,213百万円であり、前年同四半期比、前事業年度末比とも201百万円の増加となっております。

売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは548百万円(前年同四半期比8.5%増)、送風機・圧縮機は83百万円(前年同四半期比4.8%増)、部品および修理は286百万円(前年同四半期比22.4%増)の結果となりました。

また、輸出関係におきましては、マレーシア向けの大型案件の他、台湾・インドなどアジア向けが好調に推移し、売上高は109百万円(前年同四半期比18.5%増)となりました。

2. 不動産事業

オフィスビル賃貸市場の底打ちにより、売上高は144百万円(前年同四半期比5.3%増)、セグメント利益109百万円(前年同四半期比10%増)の計上となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は32百万円減少し6,691百万円、負債は7百万円増加し5,209百万円、純資産は39百万円減少し1,481百万円となりました。総資産の減少は、たな卸資産が192百万円増加しましたが、現金及び預金が157百万円、投資その他の資産が56百万円減少したこと等が主な要因です。

負債の増加は、長期借入金が202百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が174百万円増加したこと等が主な要因です。

純資産の減少は、その他有価証券評価差額金が39百万円減少したことが要因です。この結果、自己資本比率は前事業年度末比0.5%低下し、22.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は現在の事業環境下、入手可能な情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、景気の先行きは不透明であり、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況下、受注の確保・原価低減及び諸経費の削減に重点を置いた諸施策を実施するとともに、業務の質を高め、諸施策を迅速かつ確実に遂行し、環境変化に強い利益体質を確立するよう努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,533,973	1,376,872
受取手形及び売掛金	1,650,564	1,642,551
たな卸資産	844,112	1,036,536
その他	25,156	24,912
流動資産合計	4,053,806	4,080,873
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,471,570	1,462,473
土地	631,643	631,643
その他(純額)	104,522	111,639
有形固定資産合計	2,207,736	2,205,756
無形固定資産	7,319	6,735
投資その他の資産		
その他	463,975	407,199
貸倒引当金	△9,070	△9,070
投資その他の資産合計	454,904	398,128
固定資産合計	2,669,960	2,610,621
資産合計	6,723,767	6,691,494
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	965,373	1,140,224
短期借入金	948,416	953,682
未払法人税等	24,079	4,199
賞与引当金	64,697	19,972
その他	266,499	333,586
流動負債合計	2,269,065	2,451,664
固定負債		
長期借入金	1,894,236	1,691,537
退職給付引当金	471,013	483,208
役員退職慰労引当金	129,640	131,770
その他	438,586	451,459
固定負債合計	2,933,475	2,757,975
負債合計	5,202,540	5,209,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金	303,930	303,930
利益剰余金	267,843	267,712
自己株式	△28,785	△28,785
株主資本合計	1,327,989	1,327,858
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	193,237	153,995
評価・換算差額等合計	193,237	153,995
純資産合計	1,521,227	1,481,854
負債純資産合計	6,723,767	6,691,494

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	956,910	1,063,386
売上原価	851,977	888,048
売上総利益	104,933	175,338
販売費及び一般管理費	153,195	172,751
営業利益又は営業損失(△)	△48,261	2,587
営業外収益		
受取利息	128	114
受取配当金	3,883	4,412
受取保険金	2,500	-
その他	5,685	4,813
営業外収益合計	12,197	9,341
営業外費用		
支払利息	10,515	9,452
その他	578	1,438
営業外費用合計	11,094	10,890
経常利益又は経常損失(△)	△47,158	1,037
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△47,158	1,037
法人税等	2,307	1,168
四半期純損失(△)	△49,465	△130

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	819,675	137,235	956,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	819,675	137,235	956,910
セグメント利益又は損失(△)	△147,609	99,347	△48,261

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額(営業損失)との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	918,829	144,557	1,063,386
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	918,829	144,557	1,063,386
セグメント利益又は損失(△)	△106,707	109,294	2,587

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(セグメント別売上高)

(単位：千円)

	前第1四半期 平成27年4月1日から 平成27年6月30日まで		当第1四半期 平成28年4月1日から 平成28年6月30日まで		対前期比増減	
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	増減率%
製造事業						
製品別						
真空ポンプ	505,326	52.8	548,275	51.6	42,949	8.5
送風機・圧縮機	80,037	8.4	83,864	7.9	3,826	4.8
部品及び修理	234,311	24.5	286,689	27.0	52,378	22.4
その他	0	0	0	0.0	0	0.0
製造事業計	819,675	85.7	918,829	86.4	99,154	12.1
内(輸出品※)	(92,691)	(9.7)	(109,813)	(10.3)	(17,121)	(18.5)
不動産事業	137,235	14.3	144,557	13.6	7,321	5.3
合計	956,910	100.0	1,063,386	100.0	106,475	11.1

(注) ※の輸出品構成比率は売上高合計に対するものです。

(製造事業受注高及び受注残高)

(単位：千円)

製造事業	受注高			受注残高		
	前期	当期	対前期比増減	前期	当期	対前期比増減
製品別						
真空ポンプ	512,567	699,732	187,164	483,516	638,923	155,406
送風機・圧縮機	187,205	125,472	△61,733	379,411	409,239	29,828
部品及び修理	260,872	294,695	33,822	137,616	165,115	27,498
その他	3,300	0	△3,300	10,800	0	△10,800
合計	963,945	1,119,899	155,954	1,011,344	1,213,278	201,934